

赤ちゃんの  
記念日を  
成功させる  
10のコツ



# はじめに

こんにちは、スタジオマリオの岡田です。

わたしは毎日、スタジオでたくさんのお子さまの記念撮影をしています。でも写真の専門学校を出たわけでもないし、美術を専攻したこともありません。

そんなわたしでも、この仕事を毎日楽しくやっているところ、お子さまの記念日の大切さやそれを記録する喜び、思い出として残していくコツが少しずつわかってくるのです。仕事を続けていると、「コツはどんどん貯まってきます。そこで思いつきました。

わたしの持っている知識をみなさんにお伝えすれば、

みなさんの思う庄へりの山へりとはななるじやなか。  
ぢいそへ、これまで頭の中にあつたものを引っ張り出したな  
がら、整理してメモを始めました。

この本では、わたしがそうやってまとめたメモを、「赤ちゃん  
の記念日を成功させる」の「コツ」としてお伝えするといふ  
ことか。

そんなことはもう知ってるよ、よ、と思った方、ごめんなわ。  
ほんとうにうまくいくのって思った方、まずはやってみてみる  
だわ。きょうこそ思う出作りができますよ。

この本の中には、お客さまからの声で気づかされたこともたくさんあります。そういう意味では、みなさんに協力してもらって、この本ができたと言えます。みなさんのお知恵もたくさん詰まった一冊なのです。

どうかお手元において、ちょっとだけ時間ができた時にでも、ぜひ読んでみてください。全部読んでもそんなに時間がかからないと思います。

では、次のページから「赤ちゃんの記念日を成功させる10の「引」を1冊でお話ししていきます。

(この本が、記念日を成功させる「心構え編」だとすれば、同封の「赤ちゃんの思い出を上手に残す10の「コツ」」は、「撮影実践テクニック編」です。そちらもぜひご覧ください)



|  |    |
|--|----|
| はじめて                                     | 1  |
| コッ1・記念日は大きな節目。その意味を知ってしっかりお祝いしましょう       | 7  |
| コッ2・記念日でなくても、節目をつくって思い出を残しましょう           | 9  |
| コッ3・「赤ちゃんが生まれた日」「手形・足形を残しましょう            | 11 |
| コッ4・「お七夜 <small>やひし</small> 」名前が決まったら命名書 | 13 |
| コッ5・「お宮参り」「近くの神社を選びましょう                  | 14 |
| コッ6・「百日祝い」表情が豊かになってくる、絶好のシャッターチャンス       | 16 |

|                         |    |
|-------------------------|----|
| コッ7・「初節句」手作りの飾りを作りましたよ  | 18 |
| コッ8・「初誕生」ケーキにひと工夫       | 20 |
| コッ9・「七五三」伝統に我が家ならではのプラス | 21 |
| コッ10・「入園・入学」制服を主役に      | 23 |
| 先輩ママさんたちの「コメント」         | 25 |
| コッ10+1・オマケです！           | 27 |
| 最後にひとこと                 | 29 |

**コツ1**  
**記念日は大きな節目。その意味を知って  
 しっかりお祝いしましょう**

日本には、昔から伝わる子どもの行事がたくさんあります。まずはその流れをひと通り見てみましょう。

生後7日に「お七夜しちや」、生後1カ月には「お宮参り」があります。生後60日くらいから赤ちゃんの表情がどんどん豊かになってきますので、シャッターチャンスが増えますよ。

生後100日は「百日祝い」、生まれてから最初に迎える3月3日・5月5日は「初節句」です。さらに生後1

|                               |                        |
|-------------------------------|------------------------|
| 生後7日                          | お七夜 <small>しちや</small> |
| 生後1カ月                         | お宮参り                   |
| 生後100日                        | 百日祝い                   |
| 生まれてから最初に迎える<br>3月3日・<br>5月5日 | 初節句                    |
| 生後1年                          | 初誕生                    |
| 3歳・5歳・7歳                      | 七五三                    |
| そして入園・入学時のお祝い                 |                        |

(それぞれの行事についての説明は後述します)



年に「初誕生」、3歳・5歳・7歳には「七五三」、そして入園・入学時のお祝いへと続いていきます。

これらの行事は、節目ごとにお祝いをして、それまでの健康や幸せに感謝し、これらも無事に過ごせますように、できればもっと豊かに過ごせますように、との願いが込められた行事です。

**だからこそ、それぞれの行事の意味を理解して  
しっかりお祝いをしてください。**

大きな行事は、大きな思い出になって残ります。



**記念日でなくても、節目をつくって思い出を残しましょう**

お子さまの成長は、あっという間です。いつの間にか首がすわって表情が豊かになり、ハイハイしたかと思うと、よちよち歩きをはじめます。そんな毎日ですからお父さん、お母さんはつらいつらくなのが大変です。

これじゃ、思うに止むくはびついても後回しになってしまいますよね。

**そこで、大きな行事がなくても記念日を勝手に決めて思い出をつくってしまおう。**

たとえば誕生日が7日なら、カレンダーの毎月7日に印を付けます。ひと月ごとの



節目になりますから、家族写真を一枚撮るなど、親子で思い出になることを一つだけ実行してください。

1年たてば12回分の思い出ができます。

その時、演出はお父さんやお母さんが手づくりでやるともったいいですね。たとえばお父さんが髪飾りを選んでみる、お母さんが肩車してみる。実際にやってみたら何が起るかわかりません。それがエピソードになるんです。

さて、次のページからは「コツ1」で紹介したそれぞれの記念日の説明と、記念日ごとに思い出してほしいちょっとした「コツ」をお伝えしていきます。



## 「赤ちゃんが生まれた日」には、手形・足形を残しましょう

ズバリ、この日が一番の記念日であることは、いつまでもありません！

生まれてすべに、といつわけにはいかないですが、**できるだけ早く生まれたての状態を残しておきたいのが、手形・足形です。**

でもその取り方は、お客さまの話によるとみなさん結構苦労しているようです。市販の専用液と用紙、インクジェット紙、スランプ台、粘土、スキャナー、病院にお願いして…などなど。こればかりは赤ちゃんのご機嫌もありますし、根気よくやるしかないですね。

墨汁は落ちにくい、半紙はにじむ、コピー機は光が強くて危



ない…など、デリケートな赤ちゃんが相手ですから、注意しなければいけないこともたくさん。お父さん、お母さん、ここはひとつ、楽しみながらがんばってみてください。

**もう一つ忘れてはならないのが、へその緒。** もひえるかどつかは病院にゆり

ますので、ぜひ確認してみてください。

また、髪の毛や歯など、成長に伴って残していききたいものも増えてきます。専用の箱や用紙に保存用のスペースを空けておき、へその緒といっしょに残せるよう準備しましょう。赤ちゃんが大きくなった時、結局どこへやったかわからない、なんてことのないようにしたいですね。



## 「お七夜」しちや名前が決まったら命名書

生後7日目に行くお七夜しちやとは、赤ちゃんに命名し、お披露目する日です。命名書をほりだして健やかな成長を祈願します。

### 赤ちゃんの名前が決まる、感動の瞬間です！

最近では、ごく内輪でホームパーティを行う方が増えています。ちょうど退院する時期と重なることが多いので、そのお祝いも兼ねてやるというですね。

命名書は家の中で一番目立つところに飾ります。赤ちゃんの枕元や壁などにはれば、記念撮影の時に手間がかかりません。二方にのせて、へその緒といっしょに神棚、床の間に飾る場合もあります。



## この時期もっとも大切なのが出生届。

生後14日以内に出すことになっているので注意しましょう。お母さんは何かと大変な時ですから、お父さんがしっかり動いてください。統計によると、出生届はお父さんが出した、という家庭が7割を超えているそうです。

お七夜までに赤ちゃんの名前を決めておけば、出生届を出す時になってあわてることもありません。赤ちゃんの将来のためにも、命名にはじっくり時間をかけてください。

## コツ5 「お宮参り」近くの神社を選びましょう

お宮参りは、赤ちゃんが生まれてはじめて神社にお参りする行事です。地元の氏神様（その土地の守り神）に誕生を報告し、氏子の仲間入りをします。



男の子は生後32日、女の子は生後33日に行つことが多いようです。

遠出をするとう、赤ちゃんにもお母さんにも負担になります。

### なるべく近くの神社を選んではいかがでしょうか。

お宮参りには、習わしがいくつもあります。赤ちゃんの祝い着は母方の実家がつくつて贈る、父方の祖母が抱いて鳥居をくぐるなどなど。

最近では、祝い着は紋付きにこだわらず、かわいいベビードレスを着せたり、両親だけで参ってお母さんが抱いているケースも多くなっています。お祓はらいを受けて祝詞のりとをお賽銭さいせんしてもらつ人もいれば、親子そろつてお賽銭





コツ6

## 「百日祝い」表情が豊かになってくる、絶好のシャッターチャンス

をあげて鈴を鳴らし、祈願してくるだけの人もいます。お参りのしかたには、特に決まりはありません。

ちなみに、母親が抱かないという理由は、昔はお産を不浄なものとしていたから。その名残なんですね。

その名のとおり生後100日目の行事。赤ちゃんが一生食べ物に困らないようにとの願いを込めて、赤ちゃんにはじめて「ご飯を食べるまねをさせる」儀式です。地方によっては110日目、120日目に行ったりもありません。呼び方も「おいしい初め」

「真魚始め」まなはし 「箸揃え」はしぞろ 「箸祝い」はしいわ 「歯固め」はがた など様々です。

祝い膳は、正式には母方の実家がお祝いの品として婚家の家紋を入れて新調します。最近ではベビー食器のセットを用意するのが主流のようです。

祝い膳の介添えは、ご長寿にあやかるため親族の中の最年長の方で、男の子は男性、女の子は女性にお願いします。祝い膳の中身は一汁三菜。ご飯汁〜ご飯〜魚〜ご飯汁の順序で赤ちゃんの口につけ、それを三回繰り返して箸を収め、家族で祝いの膳につくのが正式な順序です。現在では赤飯と鯛の尾頭付きのみを用意する場合もあります。

あくまでも「食べるまね」をさせる儀式ですが、これを機会にスープやお粥などの



離乳食を始めてみるのはいかがでしょう。時期的にはちょうどいいかもしれませんが。

**赤ちゃんの表情が豊かになってくるのは生後60日を過ぎたあたりから。**

半年をすぎると人見知りをはじめまるおさまもいるので、百日祝いは絶好のシャッターチャンスです。

## コツ7 「初節句」手作りの飾りを作しましょう

赤ちゃんが生まれて最初に迎える節句で、盛大にお祝いします。

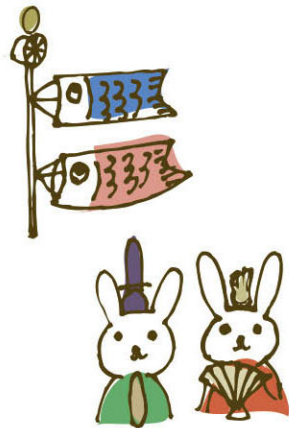
みなさんご存じのとおり、女の子は3月3日に雛人形を飾るのが一般的。男の子は5月5日に鯉のぼりや鎧兜などを飾ります。それぞれ、平穩無事に成長して幸せな結婚ができるように、強くたくましく育つようにと願います。

最近では住宅事情によって、雛人形や鯉のぼり、鎧兜の形や大きさが変わってきていますね。これを嘆く方もいますが、ここは逆手にとってご家庭に合ったかたちで楽しんではいかがでしょうか。

雛人形ではユニークな変わり雛が増えていますし、鯉のぼりや鎧兜の種類もいろいろあります。世相を反映したものなら、それだけで将来懐かしさに浸れるかもしれません。

### パパはママと一緒にお父さん・お母さんの手づくりの飾り。

お家にあるぬいぐるみに折り紙などで飾りつけするのもあります。少々見た目が悪くてもいいじゃないですか！ またこの世にふたつとないものがつくれるんですから。これは宝物になるよと間違いないですよ。



コツ8

## 「初誕生」ケーキにひと工夫

初誕生は、赤ちゃんの満1歳の誕生日をお祝いする行事です。昔は生まれたての赤ちゃんが1年無事に育つことは大変でした。だから、赤ちゃんが生まれて初めて迎える誕生日だけは盛大にお祝いされたといえます。お祝いのしかたは地方によって様々。餅をついて背負わせる、踏ませるといのが全国的に多いようです。

これから誕生日は毎年やってきます。そこがポイントです。

**1年ごとにやるお祝いだからこそ、将来に残ることをやってみましょ。**



簡単なことでもいいんです。たとえばバースデーケーキ。ろうそくを最近はやりの数字のものにして毎年続ける、ケーキの大きさを1センチずつ大きくする、デコレーションを1しずつ増やす、などでしょう。続けていけば必ずおもしろい思い出になりますよ。



## 「七五三」伝統に我が家ならではのプラス

女の子は3歳・7歳、男の子は3歳・5歳。かつては数

え年でお祝いしましたが、最近では満年齢でお祝いする方

もいらっします。氏神様に参拝し、お子さまの成長を

感謝して将来の幸福と長寿をお祈りします。今ではもともとポピュラーな記念日ですね。

通常は11月15日に行われますが、その日が休日でない場合には、両親の都合に合わせて15日前後の吉日に行うことが多いようです。

ところでなぜ11月15日なのでしょう？これは、その日が鬼宿日きすまひと言って、鬼が自分の家から出ない日だからまっ白とくろいんですよ。

七五三の最近のトレンドは、ズバリ高級化。大人でいえばブライダルのようなも





のしほ。

でも、ブライダルが高級・派手一辺倒から徐々に個性派が増えてきたように、七五三も「我が家ならではの」を求める傾向が強まっています。

基本に戻って、「伝統重視」もいいですし、七五三の日は本格的な食事の席を設けるとうつものもさじょうじょう。

大切なのはお子さまの思い出と成長。

**知識でも味覚でも、なんでもかまいません。育ち盛りのお子さまに、七五三をきっかけに何かを残しておげられるような記念日にしてほしいです。**

お父さん、お母さんだけが見栄を張って、お子さまは派手で重い衣装を着せられ、疲れただけだった、なんてことのないようにしてほしい。



## 「入園・入学」制服を主役に

「入園・入学」は社会へ羽ばたくための第一歩。これから社会と関わっていく、大きな節目です。ここではキッチリ押さえておきたいところ。

### ポイントは服装です。

保育園・幼稚園・小学校…思い出してください。制服に愛着がありましたよね？

そうです。制服は結構、主役なのです。大きくなった時、そっぴいばこんな着てたなあ、こんなランドセル背負ってたなあ、と懐かしむことができるように、思い出を残してあげてくださいね。ということは、もしお父さんやお母さんがいっしょに記念撮影するなら、制服がかすむような衣装はダメ、ですよ。主役はお子さまなんですから。お父さん、お母さんは清楚な服装をお願いします。





また、社会との関わりということから言えば、そろそろマナーが大切になってくる時期ですね。

たとえばお祝いをいただいた時。これはお子さまに対してのもので、基本的にお返しはいりません。でも、お子さまからのお礼の言葉や手紙などは、最低限のマナーです。その時に記念写真を添えると、きっと喜んでくれますよ。

わっ、これで10のコツはおしまっ。

ここからは、先輩ママさんたちのコメントを紹介しましょう。みなさん、記念日にはどうされていたんでしょうか。

## 先輩ママさんたちのコメント（スタジオ撮影編）

「満1歳の誕生日を迎えた娘といっしょに記念撮影しました。

慌ただしく過ぎていったこの1年のことを思い出しました。

夫も同じことを思ってたらしく、ついふたりで見つめ合い、お互いクスッと笑いました。区切りをつけて振り返ってみるといのは、いいものだな、と思いました」

「今年で4回目のお誕生日撮影。娘は衣装選びが大好きで、毎年楽しみにしています。

今年はたまたまウエディングドレスを試着させてもらいました。

その姿を見た瞬間、私の心がドキッと鳴りました」

「うちのわんぱく小僧はじっとしているのが大嫌い。

きれいな撮影用の衣装もなかなか着てくれません。でも今回は違っていました。

自分の妹の記念撮影だというのがわかっていたのでしょうか。写真が出来上がり、妹の横で誇らしげに立っている姿を見て、私もこの子を誇らしく思いました」

「せっかくの七五三だからと私の両親も引っ張ってきてみんなで記念撮影。

いつも表情を崩さない父が、かがんで孫の手をとって笑ってくれました。

この子はみんなの宝なんだな、と実感しました」





## オマケです!

あれ? コツは10で終わりじゃなかったっけ?

そうですね。でも、どうしても記念日を成功させるコツに付け加えたいことがあるんです。

### それは、赤ちゃんが生まれる前の思い出。

きつと、赤ちゃんが生まれてからの思い出とはまた違った宝物になるでしょうから、やっぱり残しておいてほしいんです。それはふたつあります。

一つはエコー写真。エコー写真を思い出として残す方法は、同封の本「赤ちゃんの思い出を上手に残す10のコツ」にくわしく載せています。ぜひ読んでみてください。

もう一つは「帯祝い」という記念日です。これは、妊娠5カ月目の「戌いぬの日」に、岩田帯をしめて安産を祈るというもの。犬は多産でお産が軽いとされていることから、初まったと言われています。

さて、これで本当に10（＋1）のコツはすべてお伝えしました。

あとはみなさんが、それぞれ工夫をこらして記念日を思い出として残していくてください。そして、機会があればわたしにもぜひ、その感動をわけてくださいね。



## 最後にひとこと

最後に少しだけ、わたしのいるお店について書かせてください。(ちょっと自慢話になっちゃうかもしれないですけど)

マリオは、家族揃って遊びに来てもらえる、どきどき&わくわくするお店を目指していつも努力しています。お客さまへの優しさのある接し方、撮影スタッフの高い技術、センスの良さ、安全で清潔で、居心地のいい店内。

わたしが想像しているのは、たとえるなら…夢いっぴいのテーマパーク！そんな中で、みなさんの笑顔を写真に残して、思い出づくりをお手伝いしています。

わたしたちの努力はもちろんなんですけど、実はマリオには最新鋭の設備と、70年の歴史を持つグループ企業があるんです。写真のクオリティでは、どこにも負ける気がしません。

みなさんには、このマリオをつまぐ利用してほしいと思います。

思い出のいっぱい詰まった宝物、未来への贈り物を最高の状態で残すために、なにかの記念日にはぜひマリオのスタジオへ遊びに来てください。わたしたちといろいろな話をしながら、すばらしい写真を撮りましょう。

みなさんとスタジオで会える日を楽しみにしています。

お近くのスタジオマリオのスタッフも、わたしと同じ気持ちでみなさんをお待ちしています。店長やスタッフが更新している各お店のブログがあります。のぞいてみてくださいね。

スタジオマリオのホームページから「店舗紹介」ボタンをクリック！

スタジオマリオの岡田でした。最後まで読んでくださって、ごつもありがとつごぞい  
いました！

お宮参り 百日祝 お誕生日

赤ちゃんの記念撮影は、  
こども写真館 スタジオマリオ

